

農村環境の将来像

人と自然が共生し、豊かな地域資源と画期的農業により
賑わいあふれるまち・南島原市



南島原市農村環境計画 概要版



人と自然が共生し、豊かな地域資源と画期的農業により
賑わいあふれるまち・南島原市

南島原市は、いちご、トマト、メロン、アスパラガス、葉たばこや肉用牛など多種多様な農畜産物が生産される長崎県を代表する農業地帯です。

また、日本で最初の国立公園である雲仙天草国立公園や世界ジオパークに認定されるなど、豊かな自然環境に恵まれた地域でもあります。さらに、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成遺産である“原城跡”などの歴史・文化遺産、棚田景観、豊かな農林水産物など、魅力ある観光資源に恵まれ、県内有数の観光地となっています。

一方で、少子高齢化による農業の担い手の減少は著しく、耕作放棄地の増加やイノシシなどの鳥獣被害が拡大するなど、本来、農村がもっていた水源の涵養や良好な景観の形成などの多様な恵みが損なわれつつあります。また、本市の農地の多くは中山間地域に分布し、農作業の環境は厳しい状況にあります。

本市では、農村地域の自然環境の保全、生産環境の整備、快適な生活環境の実現を目指す農業農村整備事業を総合的・効率的に実施するため、環境保全の目標や、目標達成のために必要な基本方針および対応方策を定めることを目的として、平成23年度に策定した「南島原市農村環境計画」を改正しました。本市は「環境との調和に配慮した」農業・農業関連活動を行うことで、地域の持続可能な発展を目指します。

基本方針	基本目標	施策
自然環境 積極的な保全と活用による人と自然が共生する地域づくり	山間部や自然海岸等の多様な環境に生きる希少な生物の保全	- 自然公園における適切な利用の推進 - 希少種の生息・生育環境の保全
	里地里山生態系の保全と生態系サービスの持続的利用	- 希少種の生息・生育環境の保全 - 里地里山の適切な管理 - 環境保全型農業（有機農業）の推進 - 多自然型川づくりの推進 - 多様な主体の参画
	外来生物の侵入に対する在来生物の保全	- 分布状況の把握 - ため池の管理と防除の実施 - 農家・市民への周知
	自然とのふれあいの促進	- 自然公園における整備 - 市街地における親水空間の整備 - エコツーリズムの推進
生活環境 毎日の生活に豊かさを感じ、住み続けたいと感じる農村環境の実現	農村を基盤とした快適で美しいまちづくり	- 生活排水対策の推進 - 公園や遊歩道の整備 - 生活道路の整備 - 排水路の維持・整備 - 空き家の有効利用
	歴史や地域文化の継承と活用	- 景観資源や歴史文化資源の継承と観光への活用 - 湧水の保全と継承
	農村地域におけるプラスチックごみ対策と循環型社会の構築	- バイオマス資源の有効利用 - 各家庭での3Rと適正処理の推進 - 農業用廃プラスチックの適正処理
生産環境 持続可能な農業を可能にする環境づくり	農業の振興	- 都市との交流拡大 - 担い手の育成・確保 - 特産品の開発やブランド化 - 直売場の整備と地産地消の推進
	農業にかかる労力軽減のための環境整備	- 農道・用排水路の整備と維持管理 - 農地整備 - 農地の集積・集約化 - 農業生産・流通現場のイノベーション促進
	農業施設の適正な維持管理	- ため池の適正管理 - 耕作放棄地の発生抑制、復旧および転用
	農業による環境影響の低減	- 環境保全型農業（有機農業）の推進 - 農業に伴う悪臭対策 - 地下水（湧水）水質の改善
	農業と観光の共存	グリーンツーリズムの推進
	有害鳥獣対策の強化	- 侵入防護施設の設置 - 耕作放棄地の発生抑制、復旧および転用 - 個体数の適正管理

環境特性と課題

自然環境

南島原市は、自然公園地域や里地里山環境などの自然環境に恵まれ、多様な生物がみられる地域です。しかし、近年、農業従事者の減少等に伴う里地里山環境の一部悪化が認められるほか、観光や農業など、人の活動の拡大に伴う環境への影響が懸念されます。

特に農業従事者の高齢化、後継者不足は深刻で、耕作放棄地の増加は農地の荒廃に直結します。

そのため、多様で豊かな自然環境や良好な景観と活発な農業生産活動が結びつき、農産物のブランド化や都市との交流によって経済性が向上するといった自然環境、生活環境、生産環境全てに相乗的に作用する視点での取組が必要となります。

生活環境

雲仙天草国立公園などの優れた自然景観や、棚田・石橋等の里地里山景観に恵まれています。また、キリスト教伝来の地であり、セミナリヨ・コレジヨ跡等の歴史文化資源も豊富です。

生活を支える基盤施設では、これまでの整備に加え、公園や生活道路、一部地区では下水道等の施設整備など、より一層の充実が求められています。また、人口減少や高齢化による集落内労働人口の減少は、これまで地域が共同して支えてきた河川・水路・ため池等の農業施設や集落内環境の維持・管理にも影響を与えています。

そのため、適切な生活基盤整備や生活基盤を維持するための仕組みを構築します。

生産環境

平地が少なく棚田・段々畑が多いため農作業にかかる労力が大きい一方で、農業収入への反映は低くなる傾向にあります。また、農業従事者の減少から、耕作放棄地の増加、ため池や用排水路の維持管理が不足し、イノシシ等の侵入や災害の発生・甚大化が危惧されています。

また、営農に伴う維持管理が良好な環境を維持する一方で、農業廃棄物の発生、施肥や農薬、畜産排水処理など農業に伴う環境負荷も発生します。現在取り組んでいる環境保全型農業（有機農業）の推進を通じて、一層の軽減に取り組むことが求められています。

そこで、農業しやすい環境の整備や地域農業の活性化のための仕組みづくりを行い、住民にとって好ましい農村環境を維持させていきます。

取組の基本的な考え方

農村環境計画における取組は、市域全体を対象とする広域的整備と地域の個別の状況を勘案して重点的に行う地域別整備の2つの観点から実施します。

里地里山ゾーン

- 環境に配慮しながら、農業の振興を図り、従来の里地里山生態系を維持するとともに、人々が物質面・精神面とも豊かな生活を送れるように取り組みます。
- 本市の丘陵地を中心とした広大な農業地域であり、生産性の確保と自然環境の保全の両立を図るため、生産基盤整備においては環境への配慮に努めます。

【主な施策】○多様な主体の参画による里地里山の管理
○農業生産・流通現場のイノベーション（技術革新）促進
○農地整備

自然と農の
ふれ合いゾーン

など

凡 例	
植生・土地利用	広域的整備計画対象範囲
天然林	森林ゾーン
植林地	市街地ゾーン
農地	沿岸自然公園ゾーン
市街地	里地里山ゾーン
	地域別整備対象範囲

沿岸自然公園ゾーン

早崎半島

観光と地域農業との共存

沿岸自然公園ゾーン

- 海岸域の自然度の高い生態系を保全するとともに、人々が豊かな自然と美しい海岸景観にふれあえるようにします。
- 観光客と農業従事者の双方が快適に過ごすための整備を行います。

【主な施策】○エコツーリズムの推進
○景観資源や歴史文化資源の継承と観光への活用

海と農の
共生ゾーン

森林ゾーン

水と緑の
ふれ合いゾーン

- 自然度の高い地域では人為的影響をできるだけ抑え、植林地では適切な施業を行い、生態系の保全を図ります。
- 周囲に森林が隣接する棚田や溪流等においては、多様な生物の生息・生育環境の保全を図ります。
- 人々がこの地域を訪れ、豊かな自然とふれあえる環境づくりに努めます。

【主な施策】○自然公園における適切な利用の推進
○希少種の棲息・生育環境の保全

など

森林ゾーン

市街地ゾーン

新川流域

水辺の生きものの豊富な
美しい水辺づくりのための
取組の推進・支援

大浦城跡・大垣城跡・小松崎城跡とその周辺

農業と観光の両立を目指す
アクセス性の確保
良好な農村環境の維持・管理

谷水棚田

保全と活用のための
仕組みづくり

市街地ゾーン

市民と農の
共生ゾーン

- 人々が便利で快適な生活を送れるとともに、里地里山環境と共存することにより、豊かな生態系を持つ都市域の実現を図ります。
- 公園や浸水空間を整備し、市民が自然を身近に感じ、その恵みを理解し、自ら環境配慮行動に取り組めるよう支援します。

【主な施策】○親水空間の整備
○生活排水対策の推進
○各家庭での3R*と適正処理の推進

など

※3RとはReduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つの英語の頭文字をとった言葉で、この3つの取組を通じてごみを削減し、限りある資源を有効に繰り返し使う社会（循環型社会）をつくろうとするもの。